

令和3年度

試 験 曲

音楽学部個別学力検査等

<一般選抜>

<学校推薦型選抜>



沖縄県立芸術大学

OKINAWA PREFECTURAL UNIVERSITY OF ARTS

目 次

I 一般選抜

1	試験科目一覧	1
2	各科目の実施方法	1
3	録画媒体の提出について	2
4	オンラインにより実施する試験について	2
5	備考	2
6	試験内容及び試験曲等	

《専攻試験》

(1)	音楽表現専攻声楽コース	3
(2)	音楽表現専攻ピアノコース	4
(3)	音楽表現専攻弦楽コース	4
(4)	音楽表現専攻管打楽コース	7
(5)	音楽表現専攻作曲理論コース	11
(6)	音楽文化専攻沖縄文化コース	12
(7)	音楽文化専攻音楽学コース	12
(8)	琉球芸能専攻琉球古典音楽コース	13
(9)	琉球芸能専攻琉球舞踊組踊コース	13
(10)	社会人選抜（琉球芸能専攻）	14

《音楽に関する基礎能力検査》

(1)	楽典	15
(2)	聴音	15
(3)	新曲視唱	15
(4)	副科ピアノ	15
(5)	初見視奏	16
(6)	音楽又は舞踊の実技	16

II 学校推薦型選抜

1	試験科目一覧	23
2	各科目の実施方法	23
3	録画媒体の提出について	24
4	オンラインにより実施する試験について	24
5	備考	24
6	試験内容及び試験曲等	

《専攻試験》

(1)	音楽表現専攻声楽コース	25
(2)	音楽表現専攻ピアノコース	25
(3)	音楽表現専攻弦楽コース	25
(4)	音楽表現専攻管打楽コース	25
(5)	音楽表現専攻作曲理論コース	25
(6)	音楽文化専攻沖縄文化コース	25
(7)	音楽文化専攻音楽学コース	26
(8)	琉球芸能専攻琉球古典音楽コース	26
(9)	琉球芸能専攻琉球舞踊組踊コース	26

《音楽に関する基礎能力検査》

(1)	楽典	27
(2)	聴音	27
(3)	新曲視唱	27
(4)	副科ピアノ	27
(5)	初見視奏	27
(6)	音楽又は舞踊の実技	27

III	入試問題例	29
-----	-------	----

IV	入試解答例	47
----	-------	----

VIII	入試出題例	53
------	-------	----

<一般選拔>

I 一般選抜

1 試験科目一覧

試験科目 専攻・ コース名		専 攻 試 験 (第1次試験)					音楽に関する基礎能力検査 (第2次試験)						面接
		実技 検査	コー ルユ ーパ ン ゲ ン	初見 視唱	小論 文	口述 試験	楽典 (注2)	聴音	新曲 視唱	副科 ピアノ	初見 視奏	音楽又 は舞踊 の実技 (注3)	
音楽 表現	声 楽	◎	◎				◎			◎			◎
	ピアノ	◎					◎						◎
	弦 楽	◎					◎			◎			◎
	管打楽	◎					◎			◎			◎
	作曲理論	◎				◎	◎			◎			◎
音楽 文化	沖縄文化				◎	◎	◎					◎	◎
	音楽学				◎	◎	◎			◎			◎
琉球 芸能	琉球古典音楽	◎			※	※	◎						◎
	琉球舞踊組踊	◎		◎	※	※	◎						◎

注1. ◎印は、受験者が必ず受験しなければならない科目を示す。

※印は、社会人入試のみ（但し音楽に関する基礎能力検査は受験しない）

注2. 沖縄文化コース及び琉球芸能専攻の楽典については、音楽表現専攻及び音楽学コースの楽典とは別問題とする。

注3. 音楽又は舞踊の実技の種目は問わない。

注4. 声楽、弦楽、管打楽、琉球古典音楽コース入学志願者の専攻試験の種目は以下のとおりである。

（声 楽） ソプラノ、メゾソプラノ、アルト、カウンターテノール、テノール、バリトン、バス

（弦 楽） ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

（管打楽） フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン、ホルン、
トランペット、テナートロンボーン、バストロンボーン、チューバ、
打楽器（A：小太鼓、B：マリンバ）

（琉球古典音楽） 歌三線、琉球箏曲

注5. 弦楽コースのヴァイオリンを第1志望とする入学志願者は、第2志望としてヴィオラを受験することができる。その場合には、第1志望の試験科目の他に第2志望の実技検査を受験しなければならない。

注6. 各専攻の個別学力等（実技検査を含む）については、第1次試験と第2次試験に分けて実施するが、第2次試験については、第1次試験合格者についてのみ実施する。

*ピアノコースでは、令和4年度選抜から音楽に関する基礎能力検査において初見視奏を廃止し、新曲視唱を課す。

2 各科目の実施方法

実技検査 副科ピアノ 音楽又は舞踊の実技

録画媒体(DVD、USBメモリ、SDカードのいずれか)の提出により実施する。

指定する方法で課題の演奏録画を提出すること。なお、演奏環境、画質等は審査に影響しない。

注意事項は、各コース、科目欄の記載に従うこと。

小論文 作品

課題の提出により実施する。

口述試験 面接 初見視唱
オンラインにより実施する。

楽典
オンラインによる口述試験にて実施する。

コールユーブンゲン
オンラインによる演奏審査にて実施する。

初見演技 聴音 新曲視唱 初見視奏
今年度は実施しない。

3 録画媒体の提出について

- ア 録画媒体は、以下のいずれかとする。
DVD USB メモリ SD カード(含 microSD カード)
- イ SD・USB メモリのフォーマット形式は以下のいずれかとする。
NTFS FAT32 exFAT
- ウ 動画ファイル形式は、以下の形式とする。
MOV MP4 AVI WMV MPG
- エ DVD の場合は、ファイナライズ処理を必ず行い、他の機器で再生可能かどうかを確認すること。
- オ 録画の初めに顔を映すこと。名前等は言わないこと。
- カ 各コース、科目の注意事項や【録画撮影に関する特記事項】をよく読んで、指定に従うこと。
- キ ファイル名に「受験するコース、試験科目名、氏名」を記載すること。
- ク 試験科目ごとに別の録画媒体に録画すること。
- ケ 録画媒体の本体もしくはケースに、「受験するコース、試験科目名、氏名」を記載すること。
- コ 出願期間内に願書等出願書類と一緒に郵送すること。
郵送中に破損しないように梱包すること。
- サ 必ずコピーを手元にとっておくこと。
提出された録画媒体は返却しない。
- シ 一切の編集、加工を行わないこと。
- ス すべての課題を通して録画し、録画中は中断しないこと。ただし、弦楽コース専攻試験については、当該試験の【録画撮影に関する特記事項】の指定に従うこと。
- セ カメラの位置は固定し、ズーム等は行わないこと。
- ソ 録画媒体が再生できない場合には、再提出を求めることがある。その場合は、提出済みの録画媒体のコピーを再提出すること。新たな録画の作成は認めない。
- タ 録画の状態が不良である場合、または各コースや科目の指定に準じていない場合には、採点できないことがある。

4 オンラインにより実施する試験について

募集要項の「受験上の注意」を読み、各自、インターネット環境を整えておくこと。事前の接続テストについての詳細は、受験票送付時に連絡する。

5 備考

出願書類等に不備があった場合には、採点できないことがある。

6 試験内容および試験曲等

《専攻試験》

(1) 音楽表現専攻声楽コース

注意事項：課題曲、自由曲とも暗譜で歌うこと。歌詞は原語で歌うこと（ただし、曲によっては通例歌われている他の外国語で歌うことも可）。

伴奏者は受験者が用意すること。ただし、伴奏がなくア・カペラで歌っても採点には影響しない。

【録画撮影に関する特記事項】

1. カメラは受験生の正面から全身が映るように撮影する。
2. 伴奏はピアノに限る。
3. ピアニストは映っても映らなくても採点には影響しない。但しピアニストが映る場合は、予め入学試験で使用する旨、ピアニストに撮影の許可を得ること。
4. 課題曲、自由曲の順で通して録画すること。

<課題曲>

下記の課題曲 17 曲から任意の 1 曲を選択し、入学願書に記入すること。

<自由曲>

課題曲以外の任意の曲、ただし 5 分以内とする。歌詞は原語で歌うこと。

<コールユーブンゲン>

コールユーブンゲンはオンラインにより実施する。

F.Wüllner : Chorübungen 全曲の中から、当日 1 曲を指定する。

移動ド、固定ド、のどちらで歌ってもよい。

課 題 曲

①	M.A.Cesti	Intorno all'idol mio
②	G.B.Pergolesi	Se tu m'ami
③	A.Scarlatti	Se tu della mia morte
④	A.Scarlatti	Già il sole dal Gange
⑤	G.B.Bononcini	Per la gloria d'adorarvi
⑥	A.Scarlatti	Sento nel core
⑦	F.Gasparini	Lasciar d'amarti
⑧	F.Durante	Vergin, tutto amor
⑨	W.A.Mozart	Das Veilchen
⑩	F.Schubert	An die Musik
⑪	F.Schubert	Frühlingsglaube
⑫	R.Schumann	Die Lotosblume
⑬	弘田龍太郎	浜千鳥
⑭	瀧廉太郎	荒城の月
⑮	山田耕筰	かやの木山
⑯	平井康三郎	ゆりかご
⑰	高田三郎	くちなし

(2) 音楽表現専攻ピアノコース

注意事項：課題曲は A,B,C の順に通して暗譜で演奏し、録画すること。

繰り返しは省略する。

【録画撮影に関する特記事項】

録画は、必ず演奏者の横顔、手元、ペダル操作が映るようにすること。

暗譜であることが確認できるように譜面台も画像に入ること。

使用楽器

グランドピアノ、アップライトいずれも可。

下記の課題曲 A,B,C についてそれぞれ任意の曲を 1 曲選択し、入学願書に記入して届け出ること。

＜課題曲 A＞

J.S.Bach：平均律クラヴィア曲集第 1 巻または第 2 巻より任意の 1 曲

（プレリュードとフーガ）

＜課題曲 B＞

F.Chopin：練習曲 Op.10 または Op.25 より任意の 1 曲（Op.10-3,Op.10-6,Op.25-7 を除く）

＜課題曲 C＞

L.v.Beethoven：ピアノ・ソナタ（Op.2-1～Op.90）より任意の第 1 楽章

（Op.27-1,Op.27-2,Op.49-1,Op.49-2,Op.79 の 5 曲を除く）

(3) 音楽表現専攻弦楽コース

注意事項：すべて暗譜、無伴奏で演奏すること。記号による反復は行わない。

試験曲のうち、指定した版のある曲以外は、どの版を使用しても良い。

【録画撮影に関する特記事項】

1) 演奏の収録順序は以下の通りとする。

① ヴァイオリン、ヴィオラ：〈音階〉⇒〈課題曲 A〉⇒〈課題曲 B〉

② チェロ、コントラバス：〈課題曲 A〉⇒〈課題曲 B〉

2) 暗譜であることが画面上で確認できること。

3) 指定された課題を全て含めること。課題曲 B における伴奏部分を除き、志願者における割愛はしないこと。

4) 録画撮影にあたっては、全ての課題を同一の記録媒体に録画すること。

5) 課題ごと別トラックで録画すること。その際、別トラック（課題）の収録機器・場所等、同一の環境で録画すること。

◆ヴァイオリン

【録画撮影に関する特記事項】

- ・カメラ位置は肩の高さで、左手ならびに演奏時の右手が画面に映るように撮影すること。
- また、全身又は上半身(演奏中の左手、右腕を含む)が必ず写っていること。

<音階>

Carl Flesch : Scale system より任意の調一つを選択。

5 番 (3 オクターヴの音階 Tempo は $J=80\sim100$) 全部。

6 番 (3 度の音階 Tempo は自由) 冒頭 4 小節。

7 番 (6 度の音階 Tempo は自由) 冒頭 4 小節。

8 番 (8 度の音階 Tempo は自由) 冒頭 4 小節。

*フィンガリングは自由。

*スラー、リズムは C-dur に準じること。ただし重音のスラーは一拍ずつのスラーで演奏すること。

<課題曲 A>

以下の練習曲、または、これらと同等程度以上の練習曲から任意の 1 曲を選択。

R.Kreutzer : 42 Etudes (Peters 版)

*No.1,3,5 を除く。リズムやスラーはオリジナルに準じること。

P.Rode : 24 Caprices

J.Dont : 24 Etudes and Caprices Op.35

<課題曲 B>

任意の協奏曲より第 1 楽章または最終楽章 (カデンツァは除く。ただし、作曲者が曲中に著したもののについては演奏すること)。

注. ヴァイオリンを第 1 志望とする志願者はヴィオラを第 2 志望とすることができる。

(その場合は、ヴァイオリン用に提出された音源によりヴィオラとしての適性等も含め評価する)

◆ヴィオラ

【録画撮影に関する特記事項】

- ・カメラ位置は肩の高さで、左手ならびに演奏時の右手が画面に映るように撮影すること。
- また、全身又は上半身(演奏中の左手、右腕を含む)が必ず写っていること。

<音階>

C-dur の音階。Tempo は $J=80$ 以上

フィンガリングは自由。ただしボーイングは譜例に従うこと。



<課題曲 A>

R.Kreutzer : 42 Etudes より任意の 1 曲（但しヴィオラ用の編曲）を選択。

<課題曲 B>

任意のヴィオラ協奏曲より第 1 楽章（カデンツァを除く）

◆チェロ

【録画撮影に関する特記事項】

- 《カメラの向き》横広で撮影する《高さ》カメラは肩の高さで、《場所》ほぼ中央
 ・必要とされる撮影箇所：《向かって左側》弓先での右手、《上》頭、《下》f 字孔

<課題曲 A>

Sebastian Lee : Melodische und progressive Etüden Opus31 (SCHOTT 版)

40 MELODIC STUDIES Opus31 (INTERNATIONAL 版)

より任意の 1 曲を選択。

<課題曲 B>

任意のチェロ協奏曲より第 1 楽章（カデンツァを除く）

◆コントラバス

【録画撮影に関する特記事項】

- 《カメラの向き》縦長で撮影する《高さ》カメラは肩の高さで 《場所》ほぼ中央
 ・必要とされる撮影箇所《向かって左側》弓先での右手、《上》楽器の頭、《下》 f 字孔

<課題曲 A>

F.Simandl : 30 Etudes より任意の 1 曲を選択。

<課題曲 B>

任意のコントラバス協奏曲より第 1 楽章（カデンツァを除く）

(4) 音楽表現専攻管打楽コース

注意事項：無伴奏で演奏すること。暗譜でなくてもよい。

【録画撮影に関する特記事項】

- ・音階、課題曲①、課題曲②の順に、全ての課題を通して演奏し、録画すること。
打楽器(A)(B)は、音階、小太鼓 基礎打ち、課題曲①、課題曲②の順とする。
- ・間奏は適宜省略してもかまわない。
- ・カメラアングルについて
管楽器は、全身もしくは上半身が必ず映っていること。
打楽器は、上半身及び手元が必ず映っていること。
譜面台で顔を隠さないようにすること。

【木管楽器】

◆フルート

<音階>

全長調の音階の中から譜例に従い演奏する。任意の調を1つ選択し、スラーで演奏すること。

譜例



<課題曲>

次の①、②を演奏する。

- ① E.Koehler : 35 Exercises op.33 第2巻 (12 Medium Difficult Exercises) より No. 1, 5, 6, 8, 10, 12
の中から任意の1曲を選択すること。(版は自由)
- ② W.A.Mozart : Concerto in D major K314 より 第1楽章 (カデンツァを除く、版は自由)

◆オーボエ

<音階>

全長調の音階の中から譜例に従い演奏する。任意の調を1つ選択し、スラーで演奏すること。

譜例



<課題曲>

次の①、②を演奏する。

- ① F.W.Ferling : 48 Etudes op.31 より No.1~No.6 の中から任意の1曲を選択すること。(版は自由)

- ② J.Haydn : Concerto in C major Hob.VIIg:C1 より第 1 楽章 (カデンツァを除く、版は自由)

◆クラリネット

<音階>

R.Eichler : Scales for Clarinet 全長調の 1 番の中から演奏する。

任意の調を 1 つ選択し、スラーで演奏すること。

(国立音楽大学教育出版部)

<課題曲>

次の①、②を演奏する。

- ① C.Rose : 32 Etudes より No.13~No.20 の中から任意の 1 曲を選択すること。(Leduc 版)

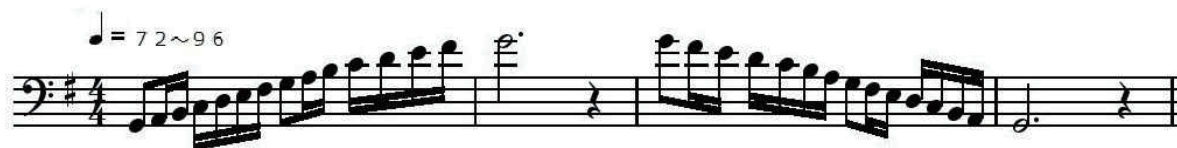
- ② C.M.v.Weber : Concertino für Klarinette und Orchester Es-dur op.26 J.109
(Breitkopf & Härtel 版)

◆ファゴット

<音階>

全長調の音階の中から譜例に従い演奏する。任意の調を 1 つ選択し、スラーで演奏すること。

譜例



<課題曲>

次の①、②を演奏する。

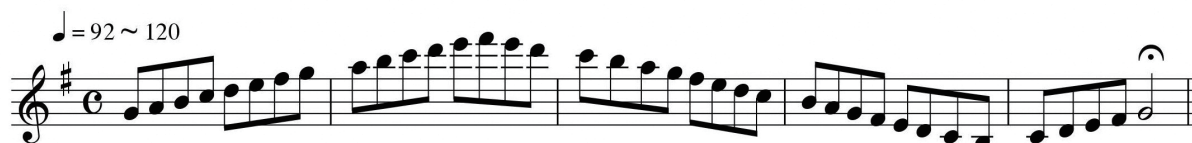
- ① J.Weissenborn : Studies for Bassoon op.8 vol.2 より No.4,6,8,10,13,14 の中から任意の 1 曲を選択すること。(版は自由、繰り返しなし)
- ② A.L.Vivaldi : Concerto in la minore F.VIII,7 RV497 より第 1 楽章 (Ricordi 版)

◆サクソフォーン

<音階>

全長調の音階の中から譜例に従い演奏する。任意の調を 1 つ選択し、スラーで演奏すること。

譜例



<課題曲>

次の①、②を演奏する。

- ① F.W.Ferling : 48 Etudes pour tous les saxophones より No.5,6,11,12,17,18 の中から任意の

1 曲を選択すること。(Leduc 版)

② P.Creston : Sonata op.19 より第 1 楽章

【金管楽器】

(共通課題)

<音階>

全長調の音階の中から譜例に従い演奏する。任意の調を 1 つ選択し、タンギングで演奏すること。

譜例



◆ホルン

<音階>

金管楽器共通課題参照のこと

<課題曲>

次の①、②を演奏する。

① C.Kopprasch:60 Studies Book1 より No. 3,13,15,16,19の中から任意の 1 曲を選択すること。

(Carl Fischer 版、繰り返しなし)

② W.A.Mozart : Konzert für Horn und Orchester Nr.3 Es-dur KV 447 より第 1 楽章

(カデンツァを除く、Breitkopf&Härtel 版)

◆トランペット

<音階>

金管楽器共通課題参照のこと

<課題曲>

次の①、②を演奏する。

① C.Kopprasch:60 Studies Book1 より No.8,10,12,15,19の中から任意の 1 曲を選択すること。

(Carl Fischer 版、繰り返しなし)

② T.Charlier : Solo de Concours (Schott 版)

◆テナートロンボーン

<音階>

金管楽器共通課題参照のこと

<課題曲>

次の①、②を演奏する。

① C.Kopprasch : 60 Studies Book1 より No.5,6,7,8,9の中から任意の 1 曲を選択すること。

(版は自由、繰り返しなし)

② A.Guilmant : Morceau Symphonique op.88 (版は自由)

◆バス・トロンボーン

<音階>

金管楽器共通課題参照のこと

<課題曲>

次の①、②を演奏する。

- ① C.Kopprasch : 60 Studies Book1 より No.6,7,8,9 の中から任意の1曲を選択すること。
(1 オクターヴ下げて演奏する、版は自由、繰り返しなし)
- ② A.Guilment : Morceau Symphonique op.88 (Reift 版)
※テナー用の原曲を完全4度低く移調したバス・トロンボーン用の編曲で演奏すること。

◆テューバ

<音階>

金管楽器共通課題参照のこと

<課題曲>

次の①、②を演奏する。

- ① C.Kopprasch : 60 Studies より No.3,10,14,15,19,20 の中から任意の1曲を選択すること。
(Robert King 版、繰り返しなし)
- ② J.S.Bach : Air and Bourrée (W.J.Bell 編曲 Carl Fischer 版)
※使用楽器は、B♭、C、F 管のいずれかとする。

◆打楽器

打楽器 (A)、打楽器 (B) のどちらかを選択し入学願書に記入して届け出ること。

打楽器 (B) で受験する者は課題曲②の記号と曲名を入学願書に記入すること。

打楽器 (A) 小太鼓

<音階>

マリンバで、全長調の音階の中から譜例に従い演奏する。任意の調を1つ選択すること。

譜例



<小太鼓 基礎打ち>

二つ打ち、九つ打ちを演奏する。

奏法は任意とする。(小太鼓を使用して演奏、響き線無し)

<課題曲> 次の①、②を演奏する。

- ① W.F.Ludwig : Collection Drum Solos より 18~19 ページの中から任意の2曲を選択すること。
(Ludwig Music Publishing 版)
- ② A.J.Cirone : Portraits in Rhythm 50 Studies for Snare drum より No.3,13,19,31 の中から任

意の 2 曲を選択すること。(YMM 版)

打楽器 (B) マリンバ

<音階>

マリンバで、全長調の音階の中から譜例に従い演奏する。任意の調を 1 つ選択すること。

譜例



<小太鼓 基礎打ち>

二つ打ち、九つ打ちを演奏する。

奏法は任意とする。(小太鼓を使用して演奏、響き線無し)

<課題曲> 次の①、②を演奏する。

① M. Goldenberg : Modern School for Xylophone, Marimba, Vibraphone 39 Etudes より V、
XII、XV、XX から任意の 1 曲を選択すること。(Chappell & Co 版)

② J.S. Bach : Sonaten und Partiten für Violine Solo BWV1001-1006

イ、ロ、ハの中から任意の 1 曲を選択して演奏する。(版は自由)

イ : Sonata I より Fuga Allegro

ロ : Partita I より Tempo di Bourree

ハ : Partita III より Preludio

(5) 音楽表現専攻作曲理論コース

<作曲実技>

和声課題(ソプラノ課題及びバス課題)を四声体で実施する。

事前に入試問題を公開するので、以下のとおり解答を送付すること。

① 令和 3 年 2 月 18 日(木) 午前 9 時に本学ホームページにて公開する。受験票とともに送付する URL とパスワードを使用して閲覧すること。

② 解答は、出願後に本学から受験票とともに送付する解答用紙へ鉛筆(B 又は 2B を使用のこと)で筆記し、音符が鮮明に見える写真を撮影の上、令和 3 年 2 月 21 日(日) 17 時までに、受験票送付時に告知するメール・アドレスに送付すること。

<口述試験>

実技試験で実施した和声課題、出願者自身の作曲又は編曲作品の楽譜※、音楽への意欲などに関する質疑等をオンラインにより実施する。

※楽譜は出願書類と一緒に提出すること。なお、口述試験の際に、提出した楽譜コピーを手元に用意すること。また、場合により画面共有することがある。

(6) 音楽文化専攻沖縄文化コース

<小論文>

次の課題図書に基づいて出題し、論述を求める。

【課題図書】

若尾 裕『サステナブル・ミュージック これからの持続可能な音楽のあり方』
(アルテスパブリッシング、2017)

問題は 17 ページを参照すること。

本学所定の解答用紙（募集要項綴じ込み）を使用して、本人自身が手書きで記入のうえ、原本を出願書類と一緒に提出すること。

※本学所定の解答用紙は、沖縄県立芸術大学ホームページよりダウンロードすることもできる。

※提出した小論文のコピーを必ず取っておくこと。

<口述試験>

小論文の内容及び課題図書に関する質疑等をオンラインにより実施する。

※口述試験の際、提出した小論文のコピー、問題、課題図書を手元に用意すること。

(7) 音楽文化専攻音楽学コース

<小論文>

次の課題図書に基づいて出題し、論述を求める。

【課題図書】

若尾 裕『サステナブル・ミュージック これからの持続可能な音楽のあり方』
(アルテスパブリッシング、2017)

問題は 17 ページを参照すること。

本学所定の解答用紙（募集要項綴じ込み）を使用して、本人自身が手書きで記入のうえ、原本を出願書類と一緒に提出すること。

※本学所定の解答用紙は、沖縄県立芸術大学ホームページよりダウンロードすることもできる。

※提出した小論文のコピーを必ず取っておくこと。

<口述試験>

小論文の内容及び課題図書に関する質疑等をオンラインにより実施する。

※口述試験の際、提出した小論文のコピー、問題、課題図書を手元に用意すること。

(8) 琉球芸能専攻琉球古典音楽コース

注意事項：課題曲、自由曲ともに暗譜で演奏すること。

【録画撮影に関する特記事項】

課題曲、自由曲の音高は、各自で決めて演奏すること。

調弦、課題曲、自由曲の順に通して録画すること。

録画は、全身が映るように撮影すること。

◆歌三線

<調弦>

調子笛の「C」に合わせて本調子と二揚調を調弦すること。

<課題曲>

かぎやで風節、上り口説（1、2、3、8番）、秋の踊【道輪口説】（1、2、3、4番）

※上記3曲の中から1曲を選択し、入学願書に記入して届け出ること。

<自由曲>

二揚調子の古典曲または二揚調子の古典民謡から任意の曲を選択し、入学願書に記入して届け出ること。

◆琉球箏曲

<調弦>

調子笛の「C」に合わせて巾、為、斗、十、九、八、七、六、五、四、三、二、一を本調子に調弦すること。

<課題曲>

瀧落萱攪

<自由曲>

歌物の中から任意の1曲を選択し、入学願書に記入して届け出ること。

(9) 琉球芸能専攻琉球舞踊組踊コース

注意事項：課題曲、自由曲ともに長着稽古着で演舞すること。

【録画撮影に関する特記事項】

課題曲、自由曲の順に2曲を通して録画すること。

①課題曲、自由曲の音源は各自で用意し、全身が映るように録画すること。

②カメラは、正面から撮影することが望ましい。

<課題曲>

かぎやで風、かせかけ

※上記2曲の中から任意の1曲を選択し、入学願書に記入して届け出ること。

<自由曲>

※琉球舞踊、又は八重山舞踊の中から任意の1曲を選択し、入学願書に記入して届け出ること。

<初見演技>

※今年度は実施しない。

<初見視唱>

初見視唱はオンラインにより実施する。

問題は 18 ページを参照すること。

※問題 A・B より当日指定する。1 分間の予見時間（声を出さずに問題を見る）を与える。唱えの
高さは任意とする。

(10) 社会人選抜（琉球芸能専攻）

＜実技検査＞

試験曲は一般選抜と同様とする。

＜小論文＞

問題は 19～22 ページを参照すること。

本学所定の解答用紙（募集要項綴じ込み）を使用して、本人自身が手書きで記入のうえ、原本を出
願書類と一緒に提出すること。

※本学所定の解答用紙は、沖縄県立芸術大学ホームページよりダウンロードすることもできる。

※提出した小論文のコピーを必ず取っておくこと。

＜口述試験＞

小論文の内容および音楽・琉球芸能に関する基礎知識についての質疑等をオンラインにより実施す
る。

※口述試験の際、提出した小論文のコピーと問題を手元に用意すること。

《音楽に関する基礎能力検査》

(1) 楽典

オンラインによる口述試験を実施する。

①入試問題の使用楽譜のみを令和3年2月18日（木）午前9時に本学ホームページにて公開する。受験票とともに送付する URL とパスワードを使用して閲覧すること。

②この楽譜をもとに口述で問題を出し、受験者は口述で解答する。

※53、54 ページに参考として出題例を掲載する。

(2) 聴音

今年度は実施しない。

(3) 新曲視唱

今年度は実施しない。

(4) 副科ピアノ

注意事項：暗譜で演奏し、録画すること。記号による反復は行わない。

【録画撮影に関する特記事項】

録画は、必ず演奏者の横顔と手元が映るようにすること。全身やペダル操作が見えることが望ましいが、必須ではなく審査にも影響はない。

暗譜であることが確認できるように譜面台も画像に入ること。

使用楽器

グランドピアノ、アップライト、電子ピアノいずれも可。電子ピアノを使用する場合はピアノの音色に設定し、エコーなどの音響効果はオフにすること。

下記の課題曲①～③の中から1曲を選択し、入学願書に記入して届けること。

音階、課題曲の順で通して演奏し、録画すること。

<音階>

ハノン教則本第39番より下記の調を演奏する。Tempo ♩=80 以上。

長調は繰り返しなしで、カデンツをつける。

短調は和声的短音階を1回弾いた後、カデンツをつけずに続けて旋律的短音階を1回弾き、カデンツをつけて終わる。

調：イ長調、嬰へ短調

<課題曲>

① J.S.バッハ：インヴェンションまたはシンフォニアより任意の1曲

② ハイドン、モーツァルトまたはベートーヴェン：ピアノソナタより任意の1つの楽章（ベートーヴェンを選択する場合はOp.101～111は除く）ただし緩徐楽章は除く。

③ ツェルニー：30番練習曲 Op.849、40番練習曲 Op.299、50番練習曲 Op.740 のいずれかより任意の1曲

(5) **初見視奏**

今年度は実施しない。

(6) **音楽又は舞踊の実技**

音楽又は舞踊の実技を録画し提出する。

音楽又は舞踊の実技の種目は問わない。

演奏または演舞時間は、3分～5分程度とし、すべて暗譜で実施すること。

演奏は伴奏なしとする。

演舞は音源を使用してよい。

【録画撮影に関する特記事項】

開始から終了までを通して演奏または演舞し、録画すること。

顔と全身が画面に収まるように撮影すること。

令和3年度沖縄県立芸術大学音楽学部 一般選抜

科目名： 小論文 専攻・コース名： 音楽文化専攻 沖縄文化コース・音楽学コース

次の課題図書を読んで、問いに対する答えを解答用紙に記入しなさい。

若尾 裕 『サステナブル・ミュージック これからの持続可能な音楽のあり方』
(アルテスパブリッシング、2017)

問1 あなたが興味を持った部分3カ所について、ページ番号を添えて書き出し、それぞれの理由を説明しなさい（合計で600字程度）。

問2 課題図書全体を通しての著者の考え方に対して、あなたの考えを論じなさい
(1200～1600字程度)。

令和三年度 沖縄県立芸術大学音楽学部 一般選抜試験問題
科目名〈初見視唱〉 琉球芸能専攻 琉球舞踊組踊コース

組踊「執心鐘入」 問題 A

① 若松詞

わぬや中城 なかくすく
若松どやゆる わかまつ

みやだいらごとあてど

首里にのぼる しゅり

廿日夜のくらさ はつかよ
いくさ

行先やまよて

ことに山路の やまみち

露もしげさ つゆ

③ 若松詞

御縁てす知らぬ ごゑん
恋の道知らぬ こい みち

しばし待ちかねる ま

夜明しら雲 よあけ
くも

④ 小僧（一）詞

昔から寺や むかし
てら

女 禁止さらめ をんな
きじ

いきやる事あて こと

とまいてきちやが

② 女詞

たるよ夜深さに よぶか

宿からんでいふすや やど
おや

親の留守やれば おや
す

自由もならぬ じゆ

出典…伊波普猷編『校註 琉球戯曲集』一九九二年 榕樹社

* 一部、異体字を改め、句読点については省いた。

令和三年度 沖縄県立芸術大学音楽学部 一般選抜試験問題
科目名〈初見視唱〉 琉球芸能専攻 琉球舞踊組踊コース

組踊「執心鐘入」 問題 B

① 女詞

親の留守なかに おや
るす

宿からち置て やど
おき

与所知れてわぬや よそし
うきな

憂名立ちゆめ

③ 女詞

七つ重べたる かさ
年頃の里に としごろ
さと

思事のあてど おもこと

とまいてきちやる

② 若松詞

おやの留守てやり るす

自由ならぬでいふすに じゆ
くりにかへ

繰返ちまたや

いひぐれしやあすが なかくすく

わぬや中城 わかまつ

若松どやゆる

みやだいらごとあてど しゅり

首里にのぼる

④ 小僧（一）詞

尋ねゆる里や たづ
さと

夢やちやうも見だぬ いめ
ん

急ち立戻れ いそ
たちもたへ

女わらべ をんな

出典…伊波普猷編『校註 琉球戯曲集』一九九二年 榕樹社

* 一部、異体字を改め、句読点については省いた。

令和三年度 沖縄県立芸術大学音楽学部社会人選抜

科目名：小論文 専攻名：琉球芸能専攻

次の文章を読んで、文章に続く問題に答えなさい。

第七 別紙口伝

この口伝において、能における花とは何か、仮に自然の花が咲く姿をみて、萬のものを花にたとえはじめた理^{ことわり}をわきまえるべきである。

そもそも花というもの、万木千草四季折々に咲くものであつて、その時を得た珍しさゆえに愛でられるのである。申樂においても人の心に珍しいと感じられる時、それがすなわち面白いという心なのだ。花、面白い、珍しい。これらは三つの同じ心である。いずれの花でも散らずに残る花などあろうか。花は散り、また咲く時があるゆえ珍しいのだ。能も一所に常住せぬところを、まず花と知るべきだ。一所にとどまらず他の姿に移り行くことが珍しいのだ。

ただし留意すべき点がある。いくら珍しいといつても、この世にないものを演じあらわすわけではない。花伝で示した各章をことごとく稽古し終わり、さて申樂を始めようとするときに、その物数を用々に従って取り出すのだ。花の場合も萬の草木において、四季折々の時の花以外に珍しいと感じるものがあるだろうか。そのように習い覚えた品々を究め尽くせば、その時々世相を心得、その時々人の好みに従って芸を取り出す。これは季節の花が咲くのを見るがごときである。花といつても去年咲いた花の種から咲いたもの。能も以前見た芸であつても、物数を究めればその数を尽くすまで久しくかかる。久しぶりに見れば、また珍しいものである。

その上人の好みも色々で、音曲・振舞い、物真似も、所々で変わりとりどりであれば、いずれの芸をもやり残してはならない。たとえば、物数を究めつくしたシテは初春の梅に始まり、晩秋の菊が咲き終えるまで、一年中の花の種をみな持つているようなものである。いずれの花であろうとも人の望み、時節に応じて取り出すべきである。物数を究めていなければ、時により花を失うことがある。たとえば春の花の盛りが過ぎ、夏草の花を觀賞したいという頃合い。春の花の芸のみを得たシテが、夏草の花もなく過ぎし春の花をまた持ち出しても、それを時の花といえるだろうか。

これにて悟るべきである。ただ花は見る人の心に珍しいゆえ花なのだ。すなわち第三問答條々、花の段に「物数を究め工夫をつくして後、花の失せない所を知るだろう」と書いたのが、この口伝

の本旨である。つまり花とは特別にある何かではない。物数を尽くし工夫を得て、珍しさを心得ることが花である。「花は心、種は技」と書いたのも、これゆえである。

物真似の鬼の段に「鬼のみをよくする者は、鬼の面白い所をも知るまい」といったのも、物数を尽くした後、意外にも鬼を出したことで、珍しさが花となって面白いのである。他の芸がなく鬼のみの上手だ、と思ってみれば芸はさすがと感じられても珍しい心がないので見所に花はない。「巖に花の咲く如し」ともいったが、鬼の芸はそもそも強く恐ろしく肝をつぶすように演じなければ鬼には見えない。これを巖といったのだ。花というのは他の芸をすべてやり尽くし、幽玄至極の上手だ、と人が思い馴れたところへ思いも寄らず鬼を出す。観客は珍しさゆえ面白く感じる。これが花である。それゆえ鬼のみ演じるシテは、巖ばかりで花はないといったのだ。

技巧についての口伝。音曲・舞・動き・振り・風情などについても前段と同じ心得がある。いつもと同じ演出と音曲なので、ここはこういう風にやるはずだと人が思い込んでいる場面を、そこには住せず、心中に同じ振りではありながら、いつもよりは軽がると芸を嗜む。音曲も同じものではありながら、なお工夫を廻らせ曲を彩り、声調を嗜み、われながら今ほど気の入ったことはないという程大事に演じるのだ。これを見、聞いた人にいつもと違い面白かったと評価されるだろう。これは見聞きした人の心に珍しいと感じさせたからに違いない。

(中略)

一、能においては、十体(あらゆる芸種)を心得るべきである。十体を体得したシテは同じ芸を一回り一回りずつ演じたとしても、その一通りの間が久しいゆえ観客はまた珍しく思うものだ。十体を得た人が、その中に故実・工夫を加えることで芸は百色にも亘るだろう。三年、五年に一度くらい同じ曲をやる場合には、珍しく見せる替えの手を計画すべきである。これは大きな安心となる。

または一年の中でも四季折々で十体との取り合わせを考慮する。日数を重ねた申楽では、一日の中はいうにおよばず、一曲の中でも芸の品々を彩って見せるべきである。このように大きな計画より、ささいな見せ方にいたるまで、自然に心づくようになれば一生花は失せないものである。

さらに、十体より大事なことは、年々去来(ねんねんきらい)の花を忘れぬことだ。たとえば十体とは物真似の品々のことだが、年々去来とは幼い頃の容姿、初心の時の技、油の乗った時分の演技、老年のたたずまいなど、その時代時代に自然と身についた芸をすべて今、一度に持つことである。ある時は少年や若者の能に見え、ある時は全盛のシテかと思い、またある時には、いかにも臆(おそ)うたけて年季の入ったように、同じ役者とは思えないような能をすべきである。これすなわち幼少時より老後までの芸を

一度にもつ理である。それで年々、去つてはまた来る花とはいったのだ。

ただし、この位に至つたシテは、今にも昔にも見聞きしたことがない。亡父観阿弥、若い盛りの能では、臆^{おそ}れた芸がことのほか得意であつたなどと聞いているのだが。四十過ぎの能は見慣れているので間違いない。自然居士^{じねんこじ}の物真似に、舞台の演技をこ覧になつた時の將軍より十六、七の役者に見えたなどとお褒めいただいたものだ。これはまさしく人も申し、自身も見^みたことなので、この位に相応している達人だと思つたことである。このように若い時分には行く末の年々去来の芸を得、年とつてからは過ぎしかたの芸を身に残すシテ。これまで一人と見たことも聞いたこともないものだ。されば初心よりこのかたの芸能の品々を忘れず、その時々、用々に従^{したが}つて取り出すべし。若くして年寄りの風情、年とつてなお盛りの芸を残すこと。珍しくないはずであらうか。

されば芸の位が上がつたといつて、過ぎし芸風をやり捨てやり捨てしては忘れてしまうこと。ひたすら花の種を失い続けることとなる。その時々^たに咲く花ばかりで種がなければ、手折^{たお}られた枝の花のようなもの。種がありさえすれば、年々時々^たの折に、なぜまたその花に逢えないことなどあらうか。ただかえすがえすも、初心忘るべからず。されば常の批評にも、若いシテに「はや完成した」「年季が入っている」などと褒め、老シテには「若やいでいた」などというのである。これぞ珍しさの理ではあるまいか。十体をそれぞれ彩れば百色にも及ぶ。さらにその上、年々去来の品々を今一身に持てたとしたら、どれほどの花になることであらうか。

(中略)

一、因果の花を知ること、すなわち極意である。すべてのものみな因果である。初心からの芸能の数々は因である。能を究め、名を得ることは果である。されば稽古にあたる因をおろそかにすれば、果を得ることは難しい。これをよくよくわきまえること。

また時の運とは恐るべきもの。去年、盛りであれば、今年は花がないことを悟るべし。時には男時^{おとことき}、女時^{めとこ}というものがある。どのようにしても能にはよい時があれば、必ずまた悪い時もある。これは人智の及ばぬ因果というものだ。これを心得て、さほど重要ではない申樂の立合い勝負に、あまり主張も立てず骨も折らず勝負に負けようとも心にかへず、手も束^{つか}ねて、少な少々と能をする。観客もこれはどうしたことかと興醒^{おきせい}めでいる所へ、大事の申樂の日、手立てを変え十八番の能を、精一杯力を入れてやつて見せるのだ。これで観客に意外の気持ちが生まれ肝要の立ち合い、大事の勝負に必ず勝てるというわけだ。これが珍しさの大きな効果である。前回悪かつたという因果が、今度はよい方に廻るのだ。

およそ三日に三公演申樂がある時、初日には技もほどほどにあしらって、三公演のここ一番という時に、よい曲でしかも得意な芸を精魂込めてやってみる。一日のうちでも立合い勝負のさなか、自然に女時につかまってしまうことがある。立ち上がりは手をこまねいて待つ。敵の男時が女時に転じた頃合いを見逃さず、よい能を採み寄せて出すのだ。ここがふたたびこちらの男時に転じる時分である。ここで能がよく出で来れば、その日の目玉を演じるのだ。

さて男時、女時とはすべての勝負に必ずどちらか一方が色めいて、いい感じになるときがある。これを男時と心得る。勝負の回数が多く長くなれば、双方へ移り変わり、移り変わりするものである。ある書には「勝負神^{しょうぶがみ}といって勝つ神様、負ける神様それぞれがご自分の勝つ部屋、負ける部屋を定め守っておられる。弓矢の道ではこれを第一の秘事となす」とある。敵方の申樂がよく出で来れば、勝つ神様はあちらにいらっしゃると心得、まず畏^{かしこ}まるべきだ。これは時の間^{とき}の因果を司る二神^{にしん}にてましませば、双方へ移り変わり、移り変わりをなさるのである。ふたたびこちらの時分がきたと感じたら、自信のある能を出すこと。これすなわち、演能の場の因果である。返す返すおろそかに思ってはならない。信じてやるからこそよい結果がついてくる。

(中略)

応永二十五年 六月一日

世阿 在判

(出典：世阿弥『現代語訳風姿花伝』水野聡訳、株式会社PHP エディターズ・グループ、二〇〇五年、八七～一〇一ページ)

問一 本文中に「花は心、種は技」とあるが、あなたが専門とする芸能における「花と種」について、具体例を挙げながら四〇〇字以内で述べなさい。

問二 本文中に「因果の花」とあるが、あなたが専門とする芸能における「因果」について、あなたの実体験に基づきながら八〇〇字以内で述べなさい。

<学校推薦型選抜>

Ⅱ 学校推薦型選抜

1 試験科目一覧

試験科目 専攻・ コース名		専 攻 試 験					音楽に関する基礎能力検査						面接
		実技 検査	コー ルユ ー フ ン ゲ ン	初見 視唱	小論 文	口述 試験	楽典 (注2)	聴音	新曲 視唱	副科 ピアノ	初見 視奏	音楽又 は舞踊 の実技 (注3)	
音楽 表現	声 楽	◎	◎				◎			◎			◎
	ピアノ	◎					◎						◎
	弦 楽	◎					◎			◎			◎
	管打楽	◎					◎			◎			◎
	作曲理論	◎				◎				◎			◎
音楽 文化	沖縄文化				◎	◎	◎					◎	◎
	音楽学				◎	◎				◎			◎
琉球 芸能	琉球古典音楽	◎					◎						◎
	琉球舞踊組踊	◎		◎			◎						◎

注1：◎印は、受験者が必ず受験しなければならない科目を示す。

注2：沖縄文化コース及び琉球芸能専攻の楽典については、音楽表現専攻及び音楽学コースの楽典とは別問題とする。

注3：音楽又は舞踊の実技の種目は問わない。

注4：声楽、弦楽、管打楽、琉球古典音楽コース入学志願者の専攻試験の種目は以下のとおりである。

(声 楽) ソプラノ、メゾソプラノ、アルト、カウンターテノール、テノール、バリトン、バス

(弦 楽) ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

(管打楽) フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン、ホルン、トランペット、
テナートロンボーン、バストロンボーン、チューバ、打楽器 (A：小太鼓、B：マリンバ)

(琉球古典音楽) 歌三線、琉球箏曲

*作曲理論コースでは、令和4年度選抜から楽典を必ず受験しなければならない科目とする。

*ピアノコースでは、令和4年度選抜から音楽に関する基礎能力検査において初見視奏を廃止し、新曲視唱を課す。

2 各科目の実施方法

実技検査 副科ピアノ 音楽又は舞踊の実技

録画媒体(DVD、USBメモリ、SDカードのいずれか)の提出により実施する。

指定する方法で課題の演奏録画を提出すること。なお、演奏環境、画質等は審査に影響しない。

注意事項は、各コース、科目欄の記載に従うこと。

小論文 作品

課題の提出により実施する。

口述試験 面接 初見視唱

オンラインにより実施する。

楽典

オンラインによる口述試験にて実施する。

コールユーブンゲン

オンラインによる演奏審査にて実施する。

初見演技 聴音 新曲視唱 初見視奏

今年度は実施しない。

3 録画媒体の提出について

- ア 録画媒体は、以下のいずれかとする。
DVD USB メモリ SD カード(含 microSD カード)
- イ SD・USB メモリのフォーマット形式は以下のいずれかとする。
NTFS FAT32 exFAT
- ウ 動画ファイル形式は、以下の形式とする。
MOV MP4 AVI WMV MPG
- エ DVD の場合は、ファイナライズ処理を必ず行い、他の機器で再生可能かどうかを確認すること。
- オ 録画の初めに顔を映すこと。名前等は言わないこと。
- カ 各コース、科目の注意事項や【録画撮影に関する特記事項】をよく読んで、指定に従うこと。
- キ ファイル名に「受験するコース、試験科目名、氏名」を記載すること。
- ク 試験科目ごとに別の録画媒体に録画すること。
- ケ 録画媒体の本体もしくはケースに、「受験するコース、試験科目名、氏名」を記載すること。
- コ 出願期間内に願書等出願書類と一緒に郵送すること。
郵送中に破損しないように梱包すること。
- サ 必ずコピーを手元にとっておくこと。
提出された録画媒体は返却しない。
- シ 一切の編集、加工を行わないこと。
- ス すべての課題を通して録画し、録画中は中断しないこと。ただし、弦楽コース専攻試験については、当該試験の【録画撮影に関する特記事項】の指定に従うこと。
- セ カメラの位置は固定し、ズーム等を行わないこと。
- ソ 録画媒体が再生できない場合には、再提出を求めることがある。その場合は、提出済みの録画媒体のコピーを再提出すること。新たな録画の作成は認めない。
- タ 録画の状態が不良である場合、または各コースや科目の指定に準じていない場合には、採点できないことがある。

4 オンラインにより実施する試験について

募集要項の「受験上の注意」を読み、各自、インターネット環境を整えておくこと。事前の接続テストについての詳細は、受験票送付時に連絡する。

5 備考

出願書類等に不備があった場合には、採点できないことがある。

6 試験内容および試験曲等

《専攻試験》

(1) 音楽表現専攻声楽コース

一般選抜に同じ

(2) 音楽表現専攻ピアノコース

一般選抜に同じ

(3) 音楽表現専攻弦楽コース

一般選抜に同じ

(4) 音楽表現専攻管打楽コース

一般選抜に同じ

(5) 音楽表現専攻作曲理論コース

<作品>

受験者自身の作曲又は編曲作品の楽譜

※楽譜は、出願時に製本せず（順番通りにクリップ留め）表紙に曲の題名と氏名を明記して、出願書類と一緒に提出すること。

<口述試験>

提出した作品、音楽への意欲などに関する質疑等をオンラインにより実施する。

※口述試験の際に、提出した楽譜コピーを手元に用意すること。また、場合により画面共有することがある。

(6) 音楽文化専攻沖縄文化コース

<小論文>

テーマ「現代の社会と音楽（舞踊）との関わりについて論じなさい」

原稿用紙（400字詰め）5枚程度とし、手書きであること。

※小論文は、原本を出願書類と一緒に提出すること。

※提出した小論文のコピーを必ず取っておくこと。

<口述試験>

小論文の内容に関する質疑等をオンラインにより実施する。

※提出した小論文のコピーを手元に用意すること。

(7) 音楽文化専攻音楽学コース

＜小論文＞

テーマ「現代の社会と音楽（舞踊）との関わりについて論じなさい」

原稿用紙（400字詰め）5枚程度とし、手書きであること。

※小論文は、原本を出願書類と一緒に提出すること。

※提出した小論文のコピーを必ず取っておくこと。

＜口述試験＞

小論文の内容に関する質疑等をオンラインにより実施する。

※提出した小論文のコピーを手元に用意すること。

(8) 琉球芸能専攻琉球古典音楽コース

一般選抜に同じ

(9) 琉球芸能専攻琉球舞踊組踊コース

一般選抜に同じ

《音楽に関する基礎能力検査》

(1) 楽典

オンラインによる口述試験を実施する。

①入試問題の使用楽譜のみを令和2年11月16日（月）午前9時に本学ホームページにて公開する。受験票とともに送付する URL とパスワードを使用して閲覧すること。

②この楽譜をもとに口述で問題を出し、受験者は口述で解答する。

※53、54 ページに参考として出題例を掲載する。

(2) 聴音

今年度は実施しない。

(3) 新曲視唱

今年度は実施しない。

(4) 副科ピアノ

注意事項：暗譜で演奏し、録画すること。記号による反復は行わない。

【録画撮影に関する特記事項】

一般選抜に同じ

下記①～③の中から1曲を選択し、入学願書に記入して届けること。

＜課題曲＞

① J.S.バッハ：インヴェンションまたはシンフォニアより任意の1曲

② ハイドン、モーツァルトまたはベートーヴェン：ピアノソナタより任意の1つの楽章
（ベートーヴェンを選択する場合は Op.101～111 は除く）ただし緩徐楽章は除く。

③ ツェルニー：30 番練習曲 Op.849、40 番練習曲 Op.299、50 番練習曲 Op.740 のいずれかより任意の1曲

(5) 初見視奏

今年度は実施しない。

(6) 音楽又は舞踊の実技

一般選抜に同じ

＜入試問題例＞

Ⅲ 入試問題例

《試験科目 目次》

* 一般入試

楽典（音楽表現専攻、音楽文化専攻音楽学コース）	・ ・ ・ ・ ・	31
楽典（音楽文化専攻沖縄文化コース、琉球芸能専攻）	・ ・ ・ ・ ・	32
聴音	・ ・ ・ ・ ・	33
新曲視唱	・ ・ ・ ・ ・	34
作曲実技	・ ・ ・ ・ ・	35
初見視奏	・ ・ ・ ・ ・	36
小論文（音楽文化専攻）	・ ・ ・ ・ ・	37
小論文（琉球芸能専攻社会人入試）	・ ・ ・ ・ ・	38
初見視唱	・ ・ ・ ・ ・	40

* 推薦入試

楽典（音楽表現専攻(※注)）	・ ・ ・ ・ ・	41
楽典（音楽文化専攻沖縄文化コース、琉球芸能専攻）	・ ・ ・ ・ ・	42
聴音	・ ・ ・ ・ ・	43
初見視奏	・ ・ ・ ・ ・	44
新曲視唱	・ ・ ・ ・ ・	45
初見視唱	・ ・ ・ ・ ・	46

※注：作曲理論コースを除く

I 右の楽譜は、チャイコフスキー作曲《交響曲第6番》からの抜粋です。以下の設問に答えなさい。

1. 1) 2段目までの調をドイツ語で答えなさい。
2. 上記の調の音階を書きなさい。(短調の場合、旋律短音階で書くこと)
3. 冒頭4小節の旋律は Viola によって演奏されます。アルト譜表に書き直しなさい。
4. A ~ F の和音の種類を以下から選択して、記号で答えなさい。

(ア)長三和音 (イ)短三和音 (ウ)増三和音 (エ)減三和音

(オ)属七の和音 (カ)減七の和音 (キ)短七の和音

5. ① ~ ⑨ の音程を例に倣って答えなさい。(複音程は単音程に直すこと)

6. 1) 部分 X を支配する調をドイツ語で答えなさい。

2) 部分 X の調の主要三和音を解答用紙に指定された譜表に調号を用いて全音符で書き、和音記号も下に書きなさい。

7. 冒頭 * 印から最後にある * 印までを $J = 116$ のテンポで演奏した時の計算式と所要時間を答えなさい。

い。(ただし、演奏によるテンポの変化は無いものとする)

II. 次の楽語の意味を答えなさい。

- 1) pesante 2) L'istesso tempo 3) con fuoco 4) giocoso 5) ritmico

Allegro non troppo ($J = 116$)

科目名：楽典
専攻名・コース名：音楽文化専攻沖縄文化コース、琉球芸能専攻

1. 次の楽譜は、團伊玖磨作曲《花の街》の旋律である。次の(1)～(6)の問いに答えなさい。

か
あ

Moderato
mp

mf crescendo

い
え

f
mp

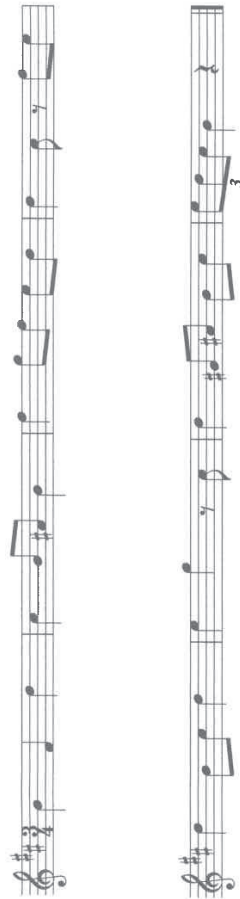
- (1) この曲は、何拍子か。次の中から選べなさい。
8分の2拍子 4分の2拍子 4分の3拍子 8分の6拍子 4分の4拍子
- (2) この曲は、何調か。次の中から選べなさい。
変ロ長調 へ短調 ト長調 ニ短調 へ長調
- (3) あ、い、う の音程はそれぞれ何度か。解答用紙の例のように答えなさい。
- (4) か、き、く の記号の名前と意味を答えなさい。
- (5) この曲を $J=80$ の速度で演奏すると、全曲演奏するにはおよそどのくらいの時間がかかるか。計算式を書いた上で、時間を答えなさい。(演奏上の速度の変化は無視すること)
- (6) この楽譜の3段目(12小節目から17小節目まで)を全音低い調に移調し、解答用紙の五線に書きなさい。その際、ト音記号と調号を書き入れること。

2. 次の(1)～(2)の問いに答えなさい。
- (1) 解答用紙の五線に、次の音階の上行形を、全音符で臨時記号を使って書きなさい。
- ア ト長調 イ ロ短調 (和声的短音階)
- (2) 解答用紙の五線に、次のコードネームが示す和音を、全音符で臨時記号を使って書きなさい。
- ア Am イ G ウ C7 エ D オ Cm
3. 次の(1)～(9)の問いの中から、5つだけを選んで答えなさい。なお、選んだ問いの番号5つを解答用紙の()に書くこと。
- (1) ハ長調の平行調は何調か。
- (2) *rit.* を省略せずにアルファベットで書き、読みと意味を答えなさい。
- (3) 次のの中から、4分音符の長さに等しい音符の組み合わせを選び、記号で答えなさい。
- ア 付点4分音符+8分音符 イ 2分音符+8分音符
ウ 全音符+16分音符 エ 16分音符+付点8分音符
- (4) 次のの中から、反復記号を一つ選んで答えなさい。
- D.C. Andante a tempo legato decrescendo
- (5) 次のの中から、沖繩の伝統芸能を一つ選んで答えなさい。
- 歌舞伎 京劇 組踊 雅楽 文楽
- (9) 三線の二場調子において、中絃を G (ト音) とすると、女絃はどの高さの音になるか。音名で答えなさい。
- (7) 三線の本調子において、男絃と中絃の音程は何度か。1 (3)の例のように答えなさい。
- (8) 次のの中から、琉球箏曲の器楽曲の曲名を一つ選んで答えなさい。
- かざやで風節 熱心鐘入 上り口説 御座楽 六段普攪
- (9) 女踊り「伊野波節」で用いられる曲名(節名)をすべて答えなさい。

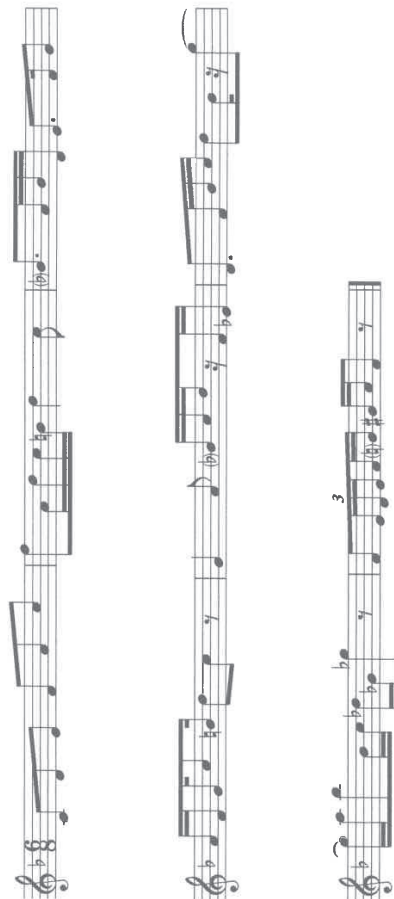
聴音

専攻・コース名：音楽表現専攻、音楽学コース

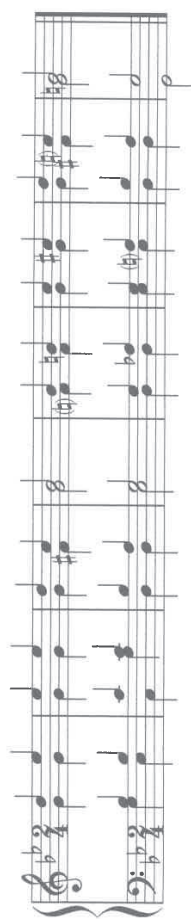
h - moll 8小節 4分の3拍子



F - dur 8小節 8分の6拍子



四声体和声 g - moll 4分の2拍子 8小節



科目名：聴音

令和2年度沖縄県立芸術大学音楽学部一般入学試験

専攻・コース名：音楽表現専攻、音楽学コース

① 旋律 h - moll 4分の3拍子 8小節

実施方法

主和音と拍子

通奏1回

前半4小節、3回

通奏1回

後半4小節、3回

通奏1回

② 旋律 F - dur 8分の6拍子 8小節

実施方法

主和音と拍子

通奏1回

前半4小節、3回

通奏1回

後半4小節、3回

通奏1回

③ 四声体和声 g - moll 4分の2拍子 8小節

実施方法

主和音と拍子

通奏7回

令和2年度沖縄県立芸術大学一般入学試験

科目名： 新曲視唱

専攻・コース名： 声楽・弦楽・管打楽・音楽学コース

1. 次のフレーズを**音程を付けずに**素早くド・レ・ミ…で読みなさい。



2. 次の旋律の**調の主和音**と**曲の開始音**をピアノで弾いてから予見しなさい。（制限時間：1分30秒）
3. 予見し終わったら、再び**主和音**と**曲の開始音**をピアノで弾き確かめてから歌いなさい。



次の和声課題を四声体で実施しなさい。

1. バス課題

Three systems of musical notation for a bass exercise. Each system consists of a grand staff (treble and bass clefs) with a key signature of two flats (B-flat and E-flat) and a time signature of 8/8. The first system has four measures with a melodic line in the bass clef. The second system has four measures with a melodic line in the bass clef. The third system has two measures with a melodic line in the bass clef.

2. ソプラノ課題

Two systems of musical notation for a soprano exercise. Each system consists of a grand staff (treble and bass clefs) with a key signature of one sharp (F-sharp) and a time signature of common time (C). The first system has four measures with a melodic line in the treble clef. The second system has four measures with a melodic line in the treble clef.

初見視奏(ピアノコース)

Tempo di valse

poco rit. ----- *a tempo*

poco rit. ----- *Meno mosso*

Tempo I

Meno mosso

Tempo I

poco rit. ----- *molto* ----- *a tempo*

Molto riten.

Tempo I

令和二年度沖縄県立芸術大学音楽学部一般入学試験

科目名：小論文 専攻名・コース名：音楽文化専攻 沖縄文化コース・音楽学コース

問一 課題図書各章の中から、あなたが興味を持った章を一つ選び、その概要を説明しなさい。(二〇〇～三〇〇字程度)

問二 問一に対して、あなたの考える音楽との「つきあい方」を論じなさい。(八〇〇字程度)

課題図書 岡田暁生『音楽と出会う 二一世紀的つきあい方』(世界思想社、二〇一九)

令和二年度 沖縄県立芸術大学音楽学部社会人入学試験
科目名・小論文 専攻名・コース名・琉球芸能専攻

次の文は、池宮正治「冠船芸能の変遷」の最初と最後の節である。文章を読んで、以下の問題に答えなさい。

一 冠船芸能とは何か

「冠船」というのは、いうまでもないことだが、琉球国王の即位を認めて王に冠（皮弁冠）と服（皮弁服）をもたらし、先王の霊を祀るために中国皇帝が派遣する使者の乗った船のことである。中国側はその使者を普通「冊封使」といい、その船を封舟といった。「冠船」または「御冠船」は琉球側の呼び名である。

察度の子武寧の冊封（一四〇四年）から最後の尚泰の冊封（一八六六年）まで、二二回中国（明・清）皇帝からの冊封を受けている。内容が窺えるのは、一五三四年尚清の時来琉した陳侃・高澄の時からで、冊封正使副使はそれぞれ頭号、二号の二隻の封舟に乗って、福建から出発した。守備の兵員二〇〇名と合わせて、総員五〇〇名前後の人々が、五、六ヶ月滞在し、時には一七一九年尚敬王の冊封のために来琉した海宝・徐葆光の如き、八ヶ月に及んで滞在する場合もあった。

冊封は、言わば中国の冊封体制に入ることによって、中国との朝貢貿易の利を得ることが出来、合わせて国際社会の一員として認知されることによって国家としての国際的な地位を獲得できるうえに、文化文物を摂取できるなど、計り知れないメリットがあり、したがって歴代王統は、中国との緊密な関係を保つことに努力している。それ故いわば一世一代の冊封使の来琉はまさに国家的な行事であって、何年も前から周到な準備をして迎え、国王主催の宴をしばしば催して歌舞音曲を提供し酒肴を供えて、遠来の客の無聊を慰めている。そして一六八三年に来琉した汪楫・林麟焯の冊封以後は、王の主催の宴が七つの大宴に固まり、これが若干の手直しをされながら、最後の冊封まで受け継がれる。

冊封使は、七つの大宴いわば儀礼のほか、これに答える中国側の宴会もあった。中国側は琉球の貴紳のほか文人との交流のために、文人や詩人、書家などを携行するほか、楽人や俳優を携行することもあった。第一宴である先王の霊を慰める「先王の論祭」の他は、楽や芸能が提供され、その答礼の宴、その間の小宴、さらに滞在中の中国の従者について芸能を習得するなど、相互に芸能の細かな交流があった。こうした芸能の交流が、その後の琉球の芸能に大きな影響を与えたことは、間違いない。それにしても、その芸能はどういう芸能であったのか。実のところはつきりせず、まずこの点を明らかにしなければならない。さらにもう

一つは、今日の琉舞は、この冠船芸能を受け継いでいると喧伝され信じられてきていることである。これは、単純に計算しても二一年に一回しかない冊封のために、琉球の芸能があったとは、論理的に考えられないことである。つまり冊封使来琉は臨時のものであって、琉球の芸能そのものが、そのためにだけあったとは到底思えない。というのは、芸能は基本的には年間の民俗的なサイクルのなかに育まれているはずで、それらを冠船芸能に盛り込んだと考えるのが順当である。後述するように、実際七月一日の中元を中心とする芸能が全琉的に賑々しく行われていたらしいし、また年忌にも盛大に芸能を提供したらしい。当然国家の祝儀や国王の慶賀、さらには個人の祝いにも芸能が供されたことは、考え得ることである。

今日例えば、若衆・二才・女・老人踊りの各踊りは、冠船踊りのなかで、どのように位置づけられ、変遷してきているのか、これを辿ることによって我々は冠船芸能を知ることができる。と同時に、今日のいわゆる「古典芸能」としての琉球舞踊を知ることができるのである。我々は何をどのように伝承し、何を忘失したのか。冠船芸能を追求することによって、我々はいくつの情報を得ることができるのである。

（中略）

一六 冠船芸能の展開

冠船芸能というと、我々は琉球舞踊や組踊に注目しがちだが、その周りには中国の芸能もあった。厳かな国家行事である論祭や冊封など儀礼に楽は欠かせない。勿論中国側も楽人を携行してきているので、答礼の時にそれを演じている。しかし王府主催の儀礼には琉球側から楽が奏される。したがって、王府は、冊封使来琉の二年ないし五年位前に、「楽稽古奉行」を任命してこれに備えている。これが冊封使の行列や江戸上りの際の路次楽や座楽に転用される。また国王の進退にもこうした楽が使われた。

中国の楽や演劇が身近であったということは、組踊のなかにも、それと分かれぬほどにスマートに影響している。能の影響を受けながら能と異なる様式を確立した組踊には、能の特徴である二段夢幻的な手法はまったく取り入れられていない。それは中国演劇の影響があったからである。中国演劇は大体時計回りだからである。また朝露の作品に顕著にみられる、台詞部分の古典音楽による歌いと、役割によって異なる唱え、これは中国でいう「唱」と「念」からヒントを得たものである。そして「組踊」は、様式が固まると、冠船芸能の最も重要な出し物となり、以後しきりに作られるようになる。まさに「組踊」こそは冠船芸能の申し子であるといつてよい。それにしても、朝露の五組が、若干封建的な解釈を加えているといえ「銘苅子」や「女物狂」「執心鐘入」などを持っていたのに、その後この方面をまったく

展開させえなかったのは惜しまれる。「孝行之巻」や「二童敵討」といった、つまり「孝」や「忠」といった封建道徳を核にした組踊に熱中したのは、まさに王府管掌の芸能の限界であったと言わなければならない。

冊封は、国王の一世一代の盛典である。そのための費用は、そうでなくても貧しい琉球に大いに負担となった。従者が持ち渡った品物を買収しなくてはならない。その評価（ハンガー）をめぐる紛糾することもある。財政的な裏付けがなく、全琉の地方役人から金品を集め、それでも足りず百姓（町人）からも借り上げと称して金を集め、高額者には家譜を支給した。そうした苦しい対応ではあったが、琉球の芸能を舞台芸として大いに発展洗練させた。冊封使歓待の芸能は、長い伝統に根ざした保守的な場でもあったが、また毎回新しい趣向を凝らす革新の場でもあった。町人が発達せず、自由な民間の舞台がなかった琉球社会では、王府管掌のこうした芸能が、もっとも高い洗練された芸能を保証する場だったのである。初めは上級の弟子がその芸能を担い、近世の末期には、下級の士族がそれを担うようになって、本来の意味の専門家が出て来るようになり、近代を迎える。しかしもともと冊封使歓待の必要から生まれた芸能は、近代になると、その意義を失って、急速に衰退して忘れ去られてしまう。特に中国芸能は、原形を留めない程に破損した形で若干残存している程度だが、これなど衰弱が一段と厳しかった。それに若衆踊りも殆ど失われている。女踊り・二才踊りそれに組踊も、全体としては、現在の見せ掛けの繁栄は別として、衰えていることに変わりはない。そして近代の嗜好のフルイにかけられて、その一部が今日に伝えられているに過ぎない。

近世の琉球の芸能は、言うまでもなく、冠船芸能としてのみ存在していたのではない。組踊だけはまさしく冠船芸能だったわけだが、古典芸能はその一部が冠船芸能として取られたのである。冠船芸能の背景には、それまで発達洗練していた琉球芸能や中国芸能あるいは大和芸能があった。しかしその他に、本論ではまったく議論しなかったが、王宮の芸能の母体とも言えるべき、村落共同体の芸能が上昇したことも指摘しなければならない。また洗練された芸能が村落に流布するという下降の構図もあったはずである。いわば、近世琉球の芸能のありようを全体として把握した上で、冠船芸能を位置づけなければならないことは、言うまでもないことである。

池宮正治「冠船芸能の変遷」（島村幸一編『池宮正治著作選集2 琉球芸能総論』笠間書院、2015年、pp.19-21,49,50）

問1、課題文を参考に「冠船芸能」の成立背景を200字以内で説明しなさい。なお、「冊封」「首里王府」という語句を用いて説明すること。

問2、あなたは、琉球沖縄の芸能の特徴はなんであると考えるか、課題文を参考に800字以内でまとめなさい。

科目名：初見視唱（専攻コース名：琉球芸能専攻琉球舞踊組踊コース）

組踊「執心鐘入」

① 若松

二十日夜の暗さ
道迷てをたん、
御情の宿に
しばし休ま。

② 女

まれの御行合さらめ
あまく片時も、
起きれきれ、里よ
語らひぼしやの。

③ 若松

御縁てす知らぬ
恋の道知らぬ、
しばし待ちかねる
夜明け白雲。

④ 小僧二

頭まろめても
慈悲知らぬものや、
石か朝夕さの
薪木ころろ。

出典『組踊 執心鐘入』沖縄県立芸術大学琉球芸能専攻

令和2年度沖縄県立芸術大学音楽学部推薦入学試験

科目名: 楽典 専攻名・コース名: 音楽表現専攻

I. 右側の楽譜はモーツァルト作曲《交響曲第35番》からの抜粋です。以下の設問に答えなさい。

- ①～③の2音間の音程を楽譜冒頭の例に倣って答えなさい（複音程は単音程に直すこと）。
- a～eの和音の種類を以下から選択して、その記号を答えなさい。
(ア)長三和音 (イ)短三和音 (ウ)増三和音 (エ)減三和音
(オ)属七の和音 (カ)減七の和音 (キ)短七の和音
- a、cの和音を含む調名を、解答欄の例に倣ってすべて答えなさい。（短調は和声短音階に限る）
- 1) A部分を支配する調をドイツ語で答えなさい。
2) A部分の調の主要三和音を解答用紙に指定された譜表に調号を用いて全音符で書き、和音記号も下に書きなさい。

5. 冒頭から最下段☆のある小節部分までをJ=120のテンポで演奏した時の計算式と所要時間を答えなさい。（ただし、演奏によるテンポの変化は無いものとする）

II. 次の楽語の意味を答えなさい。

con spirito, brillante, pietoso, feroce, sostenuto,

科目名：楽典 専攻名：音楽文化専攻沖縄文化コース、琉球芸能専攻

1. 次の楽譜は、岡野貞一作曲《ふるさと》の旋律である。次の(1)～(7)の問いに答えなさい。

か き

さ し

あ い

(1) この曲は、何拍子か。次の中から選びなさい。

8分の6拍子 4分の3拍子 2分の2拍子 8分の2拍子 4分の4拍子

(2) この曲は、何調か。次の中から選びなさい。

イ短調 へ長調 ト長調 ホ短調 へ短調

(3) あ、い の音程はそれぞれ何度か。解答用紙の例のように答えなさい。

(4) か、き の記号の名前と意味を答えなさい。

(5) この曲の さ、し、す の部分に最もふさわしい和音を次のア～ウの中から選び、記号で答えなさい。また、そのコードネームを選んで答えなさい。

和音

ア イ ウ

コードネーム：C、F、B^b、Cm

(6) この曲を J=80 の速度で演奏すると、全曲演奏するにはおよそどのくらいの時間がかかるか。計算式を書いた上で、時間を答えなさい。(演奏上の速度の変化は無視すること)

(7) この楽譜の3段目(9小節目から12小節目まで)を全音高い調に移調し、解答用紙の五線に書きなさい。その際、ト音記号と調号を書き入れること。

2. 次の(1)～(2)の問いに答えなさい。

(1) 解答用紙の五線に、次の音階の上行形を、全音符で臨時記号を使って書きなさい。

ア ト短調(和声的短音階) イ 長調

(2) C音をもとにしたドミナント・セブンス・コードについて、C音以外の三つの音名を答えなさい。

3. 次の(1)～(9)の問いの中から、5つだけを選んで答えなさい。なお、選んだ問いの番号5つを解答用紙の()に書くこと。

(1) 和声的短音階以外の二種類の短音階の名前を答えなさい。

(2) 次の中から、2分音符の長さに等しい音符の組み合わせを選び、記号で答えなさい。

ア 4分音符+8分音符 イ 付点4分音符+16分音符
ウ 全音符+4分音符 エ 8分音符+付点4分音符

(3) 次の中から、*decrescendo*と同じ意味の用語を選び、読みと意味を書きなさい。

crescendo *accelerando* *ritardando* *legato* *diminuendo*

(4) 次の三つの音を含む長調を答えなさい。

F[#]、C、G

(5) 次の中から、沖縄の民謡を一つ選んで答えなさい。

こきりこ節 アリラン 谷茶前節 こんびら船々 ソーラン節

(6) 三線の本調子において、男絃をC(ハ音)とすると、中絃はどの高さの音になるか。音名で答えなさい。

(7) 三線の二揚調子において、中絃と女絃の音程は何度か。1(3)の例のように答えなさい。

(8) 琉球箏曲の本調子において、1オクターヴの関係になる絃の組み合わせはどれか。次の中から選んで答えなさい。

四と五 二と六 四と七 三と八 十と巾

(9) 女踊り「かせかけ」で用いられる曲名(節名)を二つ答えなさい。

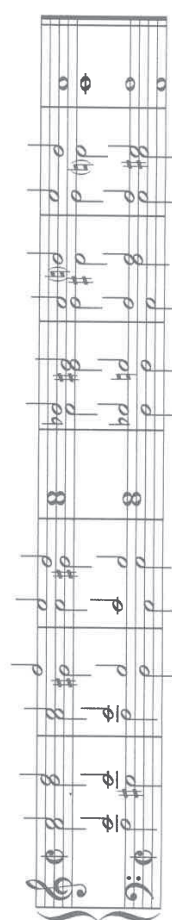
B-dur 8小節 4分の3拍子



A-dur 8小節 8分の6拍子



四声体和声 a-moll 2分の2拍子 8小節



① 旋律 B-dur 4分の3拍子 8小節

実施方法

主和音と拍子

通奏1回

前半4小節、3回

通奏1回

後半4小節、3回

通奏1回

② 旋律 A-dur 8分の6拍子 8小節

実施方法

主和音と拍子

通奏1回

前半4小節、3回

通奏1回

後半4小節、3回

通奏1回

③ 四声体和声 a-moll 2分の2拍子 8小節

実施方法

主和音と拍子

通奏7回

令和2年度沖縄県立芸術大学音楽学部推薦入学試験

科目名：初見視奏

専攻・コース名：ピアノコース

Allegretto giocoso

令和2年度沖縄県立芸術大学音楽学部推薦入学試験

新曲視唱(声楽・弦楽・管打楽・音楽学コース)

- ・最初にピアノで、主和音と開始音を弾いてから予見しなさい。(予見時間は1分30秒)
- ・歌う前に、再度ピアノで主和音と開始音を弾いてから歌い始めなさい。



組踊「執心鐘入」

若松詞

露でやんす花に

宿かゆる浮世

慈悲よ御情に

からち給うれ

女詞

親の留守なかに

宿からち置て

与所知れて我ぬや

浮名立ちゆめ

若松詞

悪縁や袖に

結ばはんばからひ

我身や首里みやだいいり

やてど行きゆる

小僧(一)詞

やかれよも座主が

かじめたる若衆

留守ならば互に

語る嬉しや

<入試解答例>

IV 入試解答例

《試験科目 目次》

* 一般入試

楽典（音楽表現専攻、音楽文化専攻音楽学コース）	49
楽典（音楽文化専攻沖縄文化コース、琉球芸能専攻）	50

* 推薦入試

楽典（音楽表現専攻(※注)）	51
楽典（音楽文化専攻沖縄文化コース、琉球芸能専攻）	52

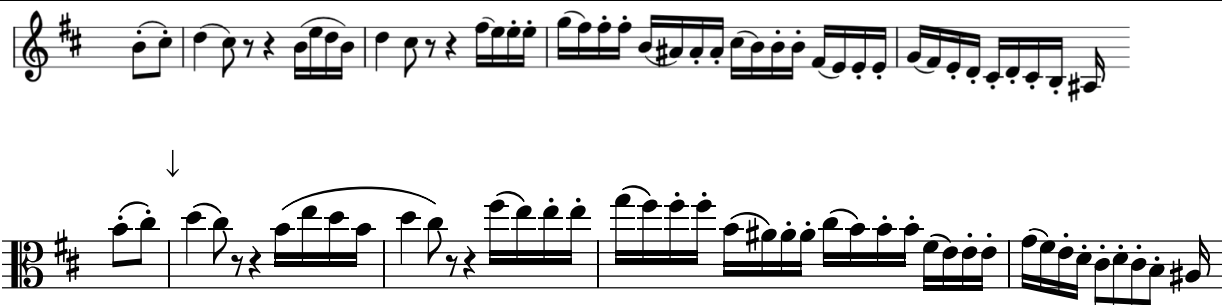
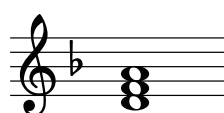
※注：作曲理論コースを除く

令和2年度沖縄県立芸術大学音楽学部一般入学試験

科目名： 楽 典 (解答用紙)

受験番号

I

1.	1)	h-moll				2)						
2.	Allegro non troppo = あまり速すぎず											
3.												
4.	A	ア	B	カ	C	イ	D	エ	E	カ	F	ア
5.	例 長2度		① 完全5度		② 短6度		③ 長3度		④ 完全4度			
	⑤ 増2度		⑥ 長2度		⑦ 増4度		⑧ 短2度		⑨ 完全5度			
6.	1) d-moll											
	2)		主和音			下屬和音			属和音			
												
	和音記号		(I)		(IV)		(V)					
7.	計算式							所要時間				
	(14×4+2)×60÷116=30							30 秒				

入試解答例

II

1) pesante	重々しく
2) L'istesso tempo	同じ速さで
3) con fuoco	熱情をもって、熱烈に
4) giocoso	おどけて、楽しく、陽気な
5) ritmico	リズムを正確に

科目名：楽典（解答用紙）

受験番号

1.

(1) 4分の2拍子 (2) へ長調

(3) 【例】 短7度

あ 完全5度 い 短2度 う 長2度

(4) か 名前 モデラート 意味 中ぐらいの速さで

き 名前 クレシェンド 意味 だんだん強く

く 名前 メzzo・ピアノ 意味 少し弱く

(5)

計算式

$$60 \div 80 \times 2 \times 22 = 33$$

33 秒

(6)



(演奏上の記号等は無くてもよい)

2.

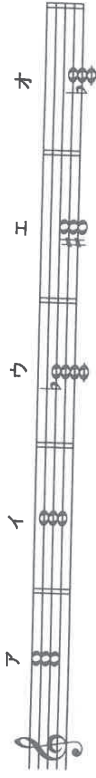
(1) ア



イ



(2)



3.

(1) イ短調

(2) *ritardando* リタルダンド だんだん遅く

(3) エ

(4) *D.C.*

(5) 組踊

(6) C (ハ音)

(7) 完全4度

(8) 六段音攪

(9) 伊野波節、恩納節、長恩納節

令和2年度沖縄県立芸術大学音楽学部推薦入学試験

科目名： 楽 典 (解答用紙)

受験番号

I

1.	例 完全8度	① 長3度	② 長6度
	③ 増2度	④ 短3度	⑤ 増1度
	⑥ 長7度	⑦ 完全5度	⑧ 増4度

2.	a ア	b カ	c イ	d 力	e オ
----	-----	-----	-----	-----	-----

3.	例 	c-moll, f-moll, As-dur, Es-dur, Des-dur
	a	G-dur, D-dur, A-dur, g-moll, fis-moll
	c	h-moll, D-dur, fis-moll, A-dur, G-dur

4.	1) h-moll		
	2) 主和音	下屬和音	属和音
			
	和音記号 (I)	(IV)	(V)

5.	計算式 $34 \times 4 \times 60 \div 120 = 68$	所要時間 68 秒
----	---	-----------

II

con spirito	元気に
brillante	はなやかに、活発な
pietoso	あわれみをもって
feroce	野生的に激しく、粗野に
sostenuto	各音を十分に保持して

科目名：楽典（解答用紙）

受験番号

1. (1) 4分の3拍子 (2) へ長調

(3) 【例】短7度

あ 完全5度 い 短3度

(4) か 名前 メッゾ・フォルテ 意味 少し強く

き 名前 クレシェンド 意味 だんだん強く

(5) さ 和音 イ コードネーム B $\flat$

し 和音 ウ コードネーム F

す 和音 ア コードネーム C

(6) 計算式

$$60 \div 80 \times 3 \times 16 = 36$$

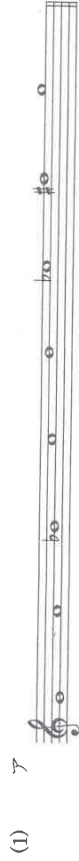
36 秒

(7)



(演奏上の記号等は無くてもよい)

2.



(2) E、G、B $\flat$

3.

(1) 旋律的短音階、自然的短音階

(2) エ

(3) デイミヌエント、だんだん弱く

(4) ト長調

(5) 谷来前節

(6) F (へ音)

(7) 完全4度

(8) 三と八

(9) 干瀬節、七尺節 (さあさあ節も可)

<出題例>

◇「楽典」（音楽表現専攻、音楽文化専攻音楽学コース）口述試験 出題例

事前に公開された楽譜をもとに口述で問題を出し、制限時間内に口述で解答する。

（問題は事前公開されない。）

Allegro (♩=116) A. Dvořák op.104

問題

事前に公開された楽譜（注：上記）を見ながら、4つの問に答えてください。

口述試験が始まったら、楽器や声などで音を出してはいけません。ただし、この口述試験の間、自分でメモを取っても構いません。

- ① 1小節目の**f**の隣に書かれた楽語の読みと意味を答えなさい。
- ② 4小節目の第4拍目の和音を下からドイツ音名で読みなさい。
- ③ この和音の種類を答えなさい。
- ④ 12小節目から15小節目の旋律を、この曲のテンポと正しいリズムで、音程を付けずにド・レ・ミ…で唱えなさい。

解答

- ① リゾルート/決然と ② dis、a、fis ③ 減三和音
- ④ レ・ド・レ・ミ・ド・レ・ミ・ド・シ・ソ・ファ・ー・ー・ー・ー|ーラ・ト・シ・ソ・レ・ソ・ファ・ー・ー・ー・ー|

◇「楽典」（音楽文化専攻沖縄文化コース・琉球芸能専攻）口述試験 出題例

事前に公開された楽譜をもとに口述で問題を出し、制限時間内に口述で解答する。

（問題は事前公開されない。）

ふ る さ と

岡野 貞一 作曲

mf

5

9

p

13

mf

問題

事前に公開された楽譜（注：上記）を見ながら、4つの問いに答えてください。

口述試験が始まったら、楽器や声などで音を出してはいけません。ただし、この口述試験の間、自分でメモを取っても構いません。

- ① この曲の拍子と調を答えなさい。
- ② 1段目に書かれている二つの強弱記号の読みと意味を答えなさい。
- ③ 9小節から12小節までの旋律を、正しいリズムで音程を付けずに、ド・レ・ミ・・・で唱えなさい。
- ④ 13小節目の音と次の14小節目第1拍の音の音程は完全5度です。では、15小節目の第2拍と第3拍の音の音程を答えなさい。

解答

- ① 四分の三拍子、ヘ長調（F-dur） ② メッツ・フォルテ/少し強く、クレシェンド/だんだん強く
③ ソファ・ソ・ド | ファソ・ラ・ラ | シラ・シ・ーレ | ドシ・ラ・ | ④ 短3度

令和3年度

試 験 曲

音楽学部個別学力検査等

令和2年9月 発行



沖縄県立芸術大学

OKINAWA PREFECTURAL UNIVERSITY OF ARTS

〒903-8602

沖縄県那覇市首里当蔵町1丁目4番地

電話 098-882-5080 (教務学生課)

<http://www.okigei.ac.jp>

JASRAC 出 2003702-001